

事務所だより



ふえていきます

退職金制度の導入

従業員の退職金制度を導入したいと考えている経営者が増えています。退職金支払いの為の資金をどう準備すればよいでしょうか。

社内積立て方式

退職金に必要な原資をすべて社内ですべて貯蓄しておき、会社から退職者に支給する方法です。仕組みとしてシンプルでわかりやすい方法といえます。



ただし、運転資金繰りに困って退職金積立金を使い込んでしまうことがありますので、おすすめできません。

中退共の活用

中小企業退職金共済機構と契約し、掛金を積立てて原資を確保する方法があります。企業は毎月設定した掛金を払い込むだけで退職金の支払段階での



出費がありません。掛金については全額損金処理できますので節税メリットも大きいです。



一方、退職金が会社を介さず直接退職者に支払われることも解雇者などについても支給を差し止めることができないなど制度の柔軟性という点でやや難があります。

生命保険商品の活用

生命保険会社の養老保険などを契約しておき、解約返戻金を退職金原資とする方法もよく利用されています。

解約返戻金がまず会社を支払われるため退職者本人に退職金として支給する前に会社として金額を調整することもできます。

退職金制度や退職金規程についてお困りの際は当事務所までご相談ください。



ます。保険掛金は多くの場合、半額損金算入です。

保険会社によって内容もさまざまであるため注意深く自社にあった保険商品を選択する必要があります。

「挨拶」

新しく事務所に入った高岡里枝です。河南町の出身です。しばらく大阪を離れていましたが六年程前に戻ってきました。

食べることを大好のむことが大好きです。



特にエスニック料理が大好きです。趣味は旅行とドライブで世界遺産をまわることが夢です。

よろしくお願います。

★社会保険料の算定基礎届★

社会保険料の額は毎年4月、5月、6月に支払った賃金の平均額で決まります。そのため、毎年7月10日までに、4ヶ月に支払った賃金を年金事務所に届け出ます。この届け出を算定基礎届と言います。

届け出た給与の額により、将来の年金額、病

気・ケガで会社を休むときにもらう傷病手当金や出産の際の出産手当金等の金額が変わってきます。

